

3章 詳細ルール編 (案内・誘導サイン)

<サインシステム>

- 3-1 案内・誘導サインの配置システム ————— 57
- 3-2 案内・誘導サインの設置位置 ————— 58

<案内サインの表示と本体>

- 3-3 地図情報の掲載基準 ————— 60
- 3-4 地図表示デザイン例 ————— 64
- 3-5 本体デザインの方針 ————— 68

<誘導サインの表示と本体>

- 3-6 誘導情報の掲載基準 ————— 69
- 3-7 誘導サインの表示デザイン例 ————— 71
- 3-8 本体デザインの方針 ————— 76

<その他>

- 3-9 本体・表示の維持管理 ————— 77

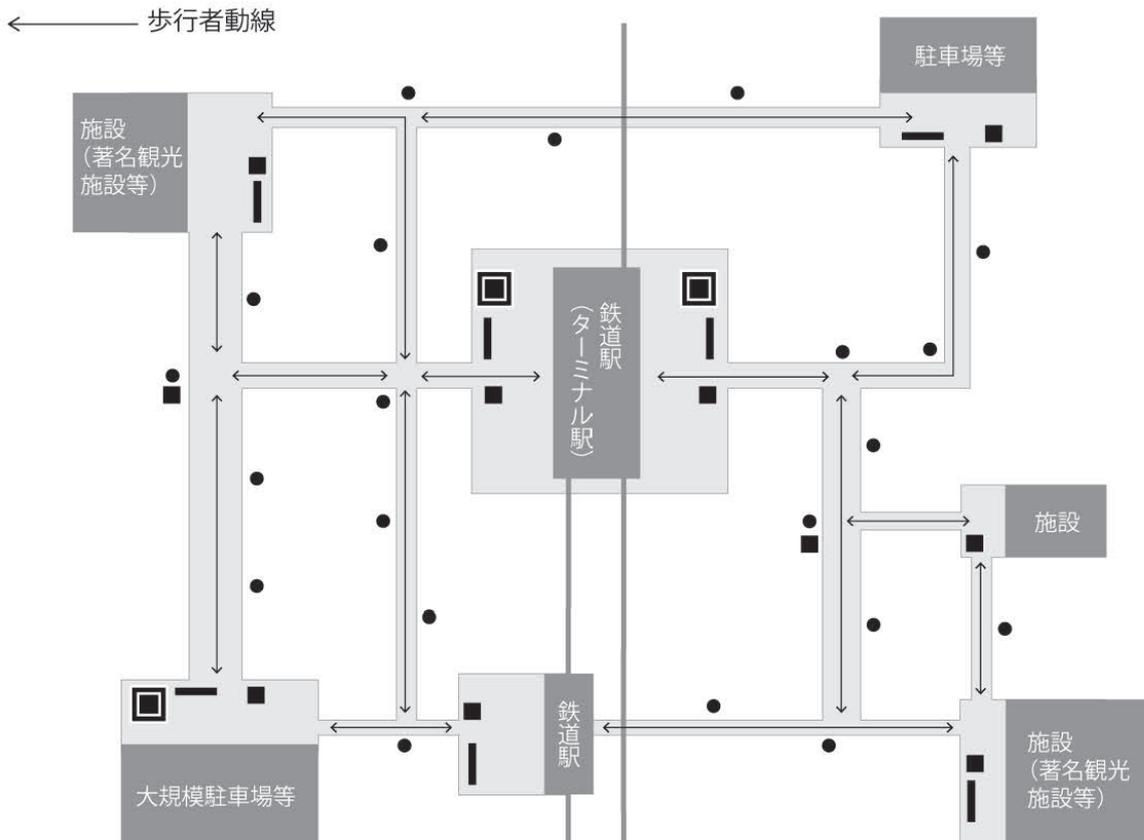
3-1 案内・誘導サインの配置システム

効果的なサイン整備を行うには、案内サインと誘導サインの連続した配置システムを設定することが重要です。案内、誘導サインを配置する際には、以下の考え方をを用いるものとします。

- 案内サインは、行動の起点や大きな分岐点となる箇所に配置する。
- 誘導サインは、観光ルートの中間、分岐点に配置する。

■(図3-1) 配置システムの考え方

サイン種類	表示内容	用途
 広域案内サイン	市内全域及び近隣市区町村を含む地図	公共交通機関を用いた移動計画支援
 地区案内サイン	主に市内旧市街地地域を表現した地図	主にレンタサイクルや徒歩等による移動計画支援
 周辺案内サイン	地図設置周辺地域を表現した地図	主にレンタサイクルや徒歩等による近距離の移動計画支援
 誘導サイン	近隣施設の誘導情報	主にレンタサイクルや徒歩等による次の目的施設までの移動支援

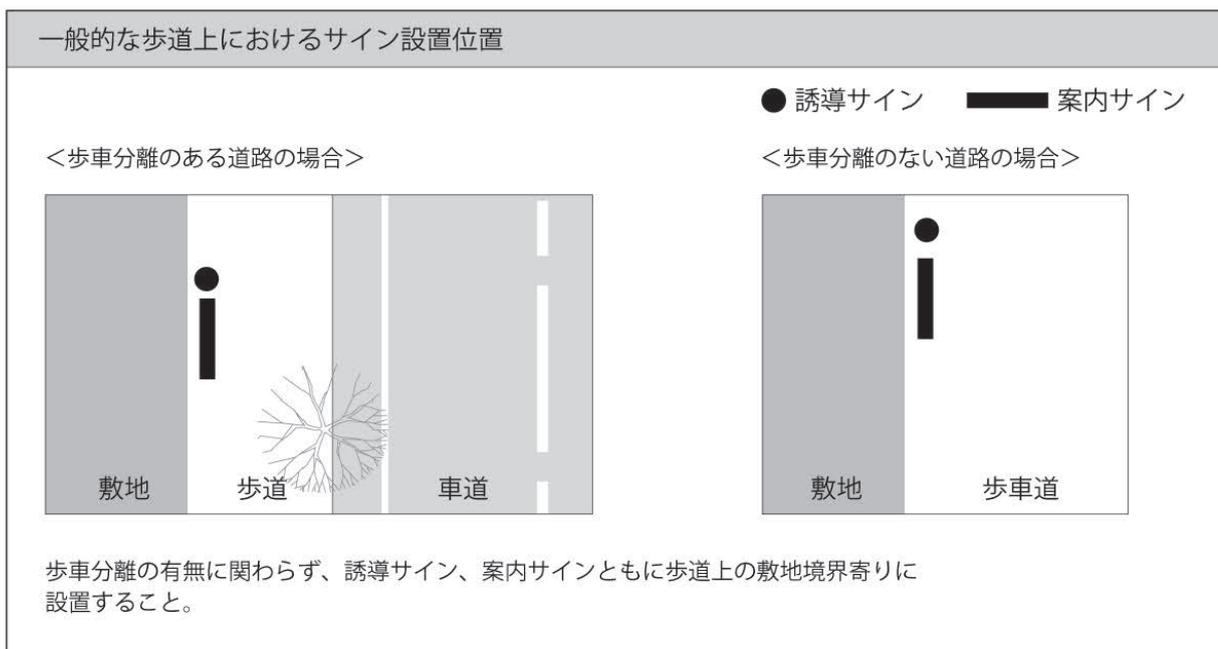


3-2
案内・誘導サイン
の設置位置

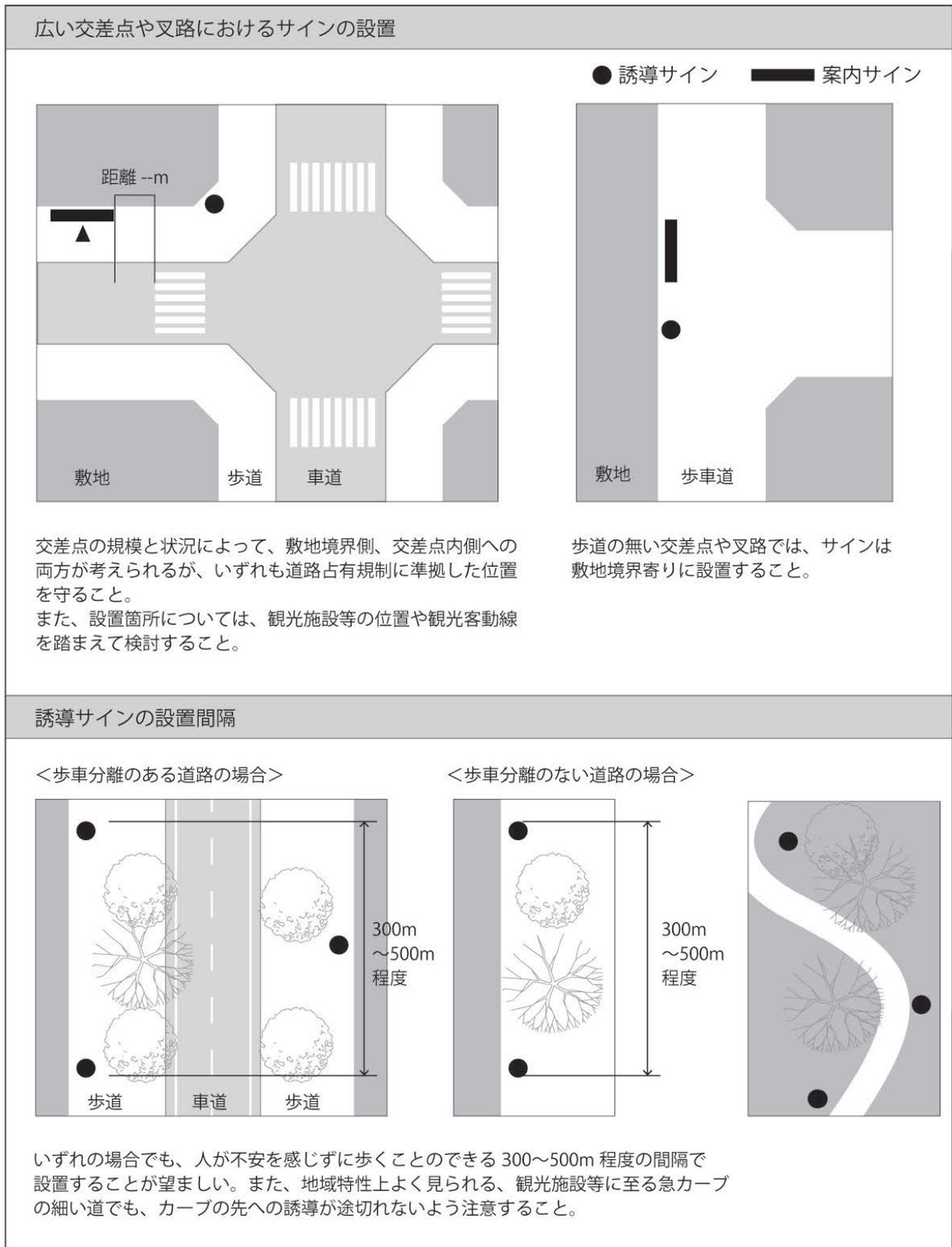
図3-1で示したサインの配置システムに基づき、案内・誘導サインは歩行者の動線上に置くことを基本とします。特に道路上では様々な制約からサインの設置位置は限られてくるため注意が必要です。また地域特性上、歩車分離のない観光ルートも多くあるため、歩行者の安全を確保しながら、視認性を損なわないかたちでのサイン設置が重要です。

案内・誘導サインを設置する際には、位置や設置間隔において、以下図3-2、3-3を用いるものとします。

■(図3-2) 設置位置の考え方



■(図3-3) 設置位置の考え方2



3-3 案内サインの地図表示における情報掲載基準は以下を用いる
 地図情報の 掲載基準 地図情報の 掲載基準
 案内サインの地図表示における情報掲載基準は以下を用いる
 ものとします。ただし、掲載する情報は、地域の実情や地図と
 しての見やすさに配慮し、適宜取捨選択をしてください。

■(図3-4) 地図表示の掲載基準1

区分	表示情報	掲載地図		ピクト、 図記号 の表現	名称 表記	言語	
		広域	地区/周辺				
ベース 面	地形	海・河川 池・湖沼		○		○	日
	道路	国道	○	○			
		県道	○	○			
		市町村道		○		○	日
	道路施設	跨線橋、歩道橋		○			
		信号交差点		○			
		橋		○			
		トンネル		○			
		階段、 地下横断道		○			
	交通施設	鉄軌道路線	○	○			
		鉄軌道駅	○	○	○  ※		日・英 (駅番号)
		駅出口		○			日・英
		バス停留所		○		○	日
		タクシー乗り場		○			
		レンタサイクル		○			

※広域案内図においては、鉄道や道路に情報を限定したものであることから、JISのピクトグラムではなく○等の記号を用いることも可とする。

■(図3-5) 地図表示の掲載基準2

区分	表示情報	掲載地図		ピクト、 図記号 の表現	名称 表記	言語	
		広域	地区/周辺				
ベース 面	交通施設	駐車場		○			
		パークアンドライド駐車場		○		○	日・英
	境界線 地名	境界線(市)	○	○			
		地名表示(市)		○		○	日・英
		地名表示(字)		○		○	日
	その他	現在地表示	○	○		○	日・英 中・韓
		地図タイトル	○	○		○	日・英 中・韓
		方位、縮尺		○			
	施設	案内所	有人案内所		○		
公共施設 公的施設		市役所		○		○	日
		警察署		○		○	日
		交番		○		○	日 〔「交番」表記のみ〕
		郵便局		○		○	日
		消防署		○	■※	○	日
		学校		○	■	○	日
		図書館		○	■	○	日
		公民館、 各種センター等		○	■	○	日
		児童公園		○		○	日
		病院		○		○	日・英

※■や●等の記号はアイキャッチといい、ピクトグラム代わりに地点を表す際に用いるものとする。

3章 詳細ルール編

■(図3-6) 地図表示の掲載基準3

区分	表示情報	掲載地図		ピクト、 図記号 の表現	名称 表記	言語
		広域	地区/周辺			
文化、 スポーツ 施設	美術館、博物館		○		○	日・英
	体育館、運動場等		○	■	○	日
宿泊、 商業施設	プール、海水浴場		○		○	日・英
	ホテル、旅館等		○		○	日・英
	コンビニエンスストア		○			
観光施設	トイレ貸出し提携 コンビニエンスストア		○			
	大規模公園、緑地		○		○	日・英
	ハイキングコース		○		○	日・英
	神社、仏閣		○		○	日・英
	やぐら、墓		○	■	○	日・英
	切通し		○	■	○	日・英
	自然景勝地		○		○	日・英
	景観重要建築物等		○	■	○	日・英
	城跡		○	■	○	日・英
	果樹園		○	■	○	日・英
	植物園		○	■	○	日・英
	漁港		○	■	○	日・英
	多機能 設備	車椅子対応お手洗い		○		

■(図3-7) 地図表示の掲載基準4

区分	表示情報	掲載地図		ピクト、 図記号 の表現	名称 表記	言語	
		広域	地区/周辺				
施設	災害時 関連施設	広域避難場所		○			
		広域避難所		○			
		津波避難場所		○			
		津波避難ビル		○			
	その他	銀行、信用金庫		○	■	○	日
		ATM		○			
		海外発行カード 対応 ATM		○			
		公衆トイレ		○			
		喫煙所		○			
		方面表記		○		○	日・英

3章 詳細ルール編

3-4

(1) 広域案内図

地図の

表示デザイン例

用途：主に公共交通機関を利用する長距離移動計画支援

表示面寸法：W900mmxH900mm 程度

縮尺：1/10,000 程度

掲載範囲：市内全域、近隣地域を含む 20km 四方

設置想定箇所：JR 駅前、大型駐車場等

■(図3-8) 広域案内図デザイン例



(2) 地区案内図

用途：主に徒歩、レンタサイクルを利用する移動計画支援

表示面寸法：W1,500mmxH1,000～1,500mm 程度

縮尺：1/5,000 程度

掲載範囲：旧市街地を中心とした市内全域（一部隣接市含む）

設置想定箇所：JR 駅前、駐車場、著名観光施設等

■(図3-9) 地区案内図デザイン例



(3) 周辺案内図

用途：主に徒歩、レンタサイクルを利用する移動計画支援

表示面寸法：W800mmxH800mm 程度

縮尺：1/2,500 程度

掲載範囲：地図設置箇所周辺 2～3 km 四方

設置想定箇所：JR、江ノ電各駅前、駐車場、著名観光施設、大通りの分岐点等

■(図3-10) 周辺案内図デザイン例



図3-8の地区案内図、図3-9の周辺案内図のデザイン例に用いた書体、色彩参考値は以下の通りです。「2-6 書体及び文字サイズ」、「2-7 色彩」の地図表現に関わる色彩の項も併せて参照してください。

■(資料3-1) 案内図デザイン例に使用した書体及び色彩

<文字参考データ>

鎌倉駅・北鎌倉駅名称

和文：ヒラギノ UD 角ゴ W5

和文文字高 9mm

英文：Avenir Next Condensed Demi Bold

英文文字高 4.5mm

江ノ電駅、その他施設名称

和文：ヒラギノ UD 角ゴ W5

和文文字高 5mm

英文：Avenir Next Condensed Demi Bold

英文文字高 3mm

<色彩参考データ>

	(DIC 2381)		(DIC 2380)		(DIC F10)	ピクト&文字
		海			(DIC F72)	ハイキングコース名称和文
白		道			-----	ハイキングコース
(DIC 2057)		地図ベース(平地)		(DIC F287)		公園
(DIC F305)		等高線1		(DIC F287)		駅(JR、私鉄)
(DIC F284)		等高線2		(DIC F6)	—	線路(JR)
(DIC F276)		等高線3		(DIC F255)	—	線路(江ノ電)
(DIC F292)		等高線4		(DIC F102)		現在地
(DIC F79)		等高線5		(DIC F141)		グリッド1
(DIC F213)		等高線6		(DIC F154)		グリッド2
(DIC F275)		等高線7				
(DIC F279)		等高線8				